## 人命尊重を第一に 通学路の安全確保を

**木村議員**　登校中に児童の列に車が突っ込み、死傷者が出るという痛ましい事故が相次いでいる。

本市でも、歩道が未整備のために、命がけで登下校しているところがあり、学校を取巻く歩道整備が急務であると考えている。特に、県道岩瀬・二宮線では、幅員も狭く制限速度を超えて走る大型車も多いため、保護者が児童を送迎している状況である。この現状を踏まえ、速度抑止策として、より有効なデザインの道路表示、危険を感じたときの逃げ場の確保など、命を守ることを第一に、迅速な策を設けることが不可欠であると考えるがいかがか。

県道岩瀬・二宮線（久下田下交差点付近）

**建設部長**　県道岩瀬・二宮線の久下田下交差点から五行川に架かる桂橋の区間は、栃木県と茨城県にまたがっているため、道路管理者である真岡土木事務所及び筑西土木事務所に問い合わせたところ、本路線は幹線道路であり、通過交通が多いことや道路幅が六・五メートル前後と狭あいであることから、デザインを描くことによる速度抑止や逃げ場のスペースをつくることは、現在考えていないとのことである。

しかし、路側帯が狭く、歩行者や自転車の通行には危険な道路であることから、再度現地を調査、確認するとのことである。

市としては、既に県に対して、道路拡幅の要望をしているが、さらに関係機関と協議し、歩行者等の安全対策を図っていく。

## 女性管理職登用の 積極的な推進を

**春山議員**　現在、正規職員の女性役職者は係長職四名であり、昨年度、今年度ともに女性の係長職への登用はなかった。この状況や原因をどのように捉えているのか伺う。また、この状況を是正するために、計画的な女性役職の登用が必要であると考えるがいかがか。

**市長**　女性職員の管理職及び役職者の現状については、管理職にふさわしい能力、意欲のある職員を男女の区別なく登用したいと考えており、女性職員にも機会あるごとに上位職を希望するよう話しているので、残念な状況である。原因としては、上位職希望者が少ないことが要因の一つであると考えている。

管理職に登用するには、係長職に昇任することが必要なので、職員には性別に関係なく、管理監督者としての研修、能力開発のための自己啓発研修などに積極的に参加させ、職員としての資質や能力の向上に努めるよう指導している。

本市女性職員の行政各分野での活躍や仕事ぶりも十分認識している。今後、女性職員との懇話会等を開催し、上位職を希望するよう働きかけたいと思っているので、係長職への昇任希望者が増えることを期待している。

計画的な女性役職者の登用については、男女の区別なく登用を考えているので、今のところ女性職員を対象とした計画的な登用までは考えていない。

## いじめ問題に対する 児童生徒への指導は

**春山議員**　いじめ問題は、教育委員会、学校、教職員、保護者らがみずからの問題として切実に受けとめ、徹底して取組むべき重要な課題である。

「いじめは人間として絶対に許されない」という認識が一人一人の児童生徒に徹底されなければならない。どのように児童生徒へ指導しているのか伺いたい。

「いじめを起こさないために」栃木県教育委員会資料

**教育長**　「いじめは人権に関わる重大な問題であり、決して許されないことである」との共通認識のもと、児童生徒を指導している。

人権教育では、全ての人が互いの人権を尊重し、共に生きる社会を実現するため、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動が、授業の中ではもちろんのこと、道徳教育を中核として、学校生活の全ての場面で行われている。人権教育の根本をなすものは「自他の生命尊重」すなわち命の大切さを教えることである。この精神から、他人に精神的・肉体的苦痛を与えることは人権侵害の最たるものであり、絶対に許すことはできない。この精神をあらゆる場面や方法で徹底指導すべきである。

大切なことは、これらの考えを児童生徒、教師、親が共有し、その意識のもとに友達同士、子と教師、子と親の信頼関係を構築し、支え合う体制をつくり、その子の孤立を防ぐよう努力することと考えている。これらのことを念頭に、学校の全ての場面で一人一人を大切にする教育活動を行っている。